

## 【群馬県】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本県では、新・群馬県総合計画において、「群馬の環境を生かした教育×デジタルを活用した新しい教育＝群馬ならではの新しい学び」の確立により、始動人（自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力を持つ人）の育成を目指すことを掲げている。

これを踏まえて、群馬県教育ビジョン（第4期教育振興基本計画）において、「自律した学習者」の育成を目指し、「ICTを活用した教育イノベーションの推進」を政策の1つとして掲げている。

「ICTを活用した群馬ならではの新しい学び」＝『『自律した学習者』の育成に向けた、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る空間的・時間的な制約を超えた学び』の実現が、本県が目指す学びの姿である。

#### 2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想を受け、県立学校（義務教育段階）では、中等教育学校は令和2年度末までに、特別支援学校は令和4年末までに、すべての児童生徒に対して計1,386台の1人1台端末の整備を完了するとともに、高速通信ネットワークや無線LAN環境の整備を行い、ICTを基盤とした新たな学びの確立を進めてきた。

また、学校間、教員間でICTの活用状況に差が生じないように、市町村立の小中学校では、令和2年度から令和4年度まで、「ICT活用促進プロジェクト」としてモデル校を指定。公開授業や実践発表を行うことで、1人1台端末を活用した授業を推進するとともに、活用事例の横展開を行った。

この取組によりICT活用が推進された一方で、ICTを活用すること自体が目的となる授業も見られたことから、学びの基盤としてのICTの有効活用の在り方を研究していく必要がある。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

スタディログ等のデータ活用による児童生徒の興味・関心や習熟度に応じた個別最適な学び、デジタルツールによる共同制作やリアルタイムでの意見共有を通じた協働的な学びを推進することで、1人1台端末を活用した深い学びを実践していく。

ICT活用は学びの質や学びの転換（学び方や教員の指導・支援）に大きな影響を与える。端末を使うこと自体が目的化しないよう、ICTを使う目的を常に明確にし、授業の中でその利点を生かせるように、ICT活用の意義とその効果を教員が十分に理解しておくように指導助言を行う。